

2023年6月4日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第66巻第9号(通算3341号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

神様がすべての人と共に
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

聖霊降臨節 第2主日 (三位一体主日) 礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

前奏黙祷

招きの詞 ヨハネによる福音書

21章 17b-18節

賛美歌 21-521番「とらえたまえ、われらを」(©著作権消滅)

聖書 使徒言行録

2章 22-36節

お祈り

賛美歌『アイオナ共同体賛美歌集』「世の初め、鳥のように」(©JASRAC)

メッセージ「誰と出会うか」

牛田 匡 牧師

賛美歌 21-543番「キリストの前に」(©教団讚美歌委員会)

聖餐

牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物 (*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福

牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

^{まね}招きの詞 ^{ことば} ヨハネによる福音書 21 章 17b-18 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

17 「私の羊を飼いなさい。18 よくよく言うておく。あなたは、若い時は、自分で帯を締めて、行きたい所へ行っていった。しかし、年を取ると、両手を^a広げ、他の人に帯を締められ、行きたくない所へ連れて行かれる」 (脚注 a: 別訳「伸ばし」)

聖書 使徒言行録 2 章 22-36 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

22 イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、この方を通してあなたがたの間で行われた奇跡と不思議な業とするしとによって、そのことをあなたがたに示されました。あなたがた自身をご承知のとおりです。23 このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手によって、はりつけにして殺したのです。24 しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。25 ダビデは、イエスについてこう言っています。

『私は絶えず目の前に主を見ていた。／主が私の右におられるので
私は揺らぐことがない。』

26 それゆえ、私の心は喜び／私の舌は喜び躍った。

私の肉体もまた希望のうちに安らう。

27 あなたは私の魂を陰府^{よみ}に捨て置かず／^bあなたの聖なる者を朽ち果てさせない。

28 あなたは、命の道を私に示し／御前^{みまえ}にいる私を喜びで満たしてくださる。』

29 きょうだいたち、^c先祖ダビデについては、彼は死んで葬られ、その墓は今日まで私たちのところにあると、はっきり言えます。30 ダビデは預言者だったので、彼から生まれる子孫の一人を王座に着かせると、神が堅く誓ってくださったことを知っていました。31 そして、キリストの復活について予見して、『彼は陰府^{よみ}に捨て置かれず／その肉体は朽ち果てなかった』と語りました。32 神はこのイエスを復活させられたのです。私たちは皆、そのことの証人です。33 それで、イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊^{おんちち}を御父から受けて注いでくださいました。あなたがたは、今このことを見聞きしているのです。34 ダビデが天に昇ったわけではありません。彼自身こう言っています。『主は、私の主に告げられた。／「私の右に座れ／³⁵私があるあなたの敵を／あなたの足台とするときまで。』』

36 だから、イスラエルの家はみな、はっきりと知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」 (脚注 b: 別訳「あなたに忠実な者」、c: 直訳「族長」)

《先週のメッセージより》5月28日 ^{ペンテコステ} 聖霊降臨日礼拝

「ビューン ピトツ ワイワイ ザワザワ」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 使徒言行録 2章 1-13節

本日の御言葉^{みことば}には「言葉」という訳語が4回出てくる。このうち、4節と11節のそれは、単に言葉というだけではなく、その背後にある、たとえば人々の生活や習慣、あるいは個々人の感情や性格、思いなどをも表しうるもので、3節の「舌」も同じ単語の訳語。この「言葉」の意味、それと、イエスの死後50日にわたって彼の弟子や家族、イエスに従った女性たちの置かれた状況を踏まえると、「炎のような舌」が降り注ぎ、彼女たちが「他国の言葉」で話し出した、というのは、そこに集っていた一人ひとりの思いが乗せられた言葉が、他の誰にも^{さえぎ}遮られることなく^{つむ}紡ぎ出されていた、ということなのではないだろうか。

復活のイエスに出会って、イエスに触れ、イエスと語りあっていた彼女たちは、生前のイエスとの日々を思い起こしながら、彼と共に歩んだ経験を語り始め、気づくようになる。イエスの歩みとは、他者と共にある歩みだった。同じような背景を持つ者だけではなく、自分とは異なる人たちにも出会い、その人たちの声、言葉に耳を傾け、丁寧に聴いていた。その気づきを経て、彼女たちは、自分たちもイエスと同じように、一人ひとりの思いを聴きあうようになる。どんな内容であっても、どんな語り方であっても、途中で遮ることなく、判断を挟むのでもなく、それぞれの語りが紡がれるままにする。苦しみ、不安、痛み、悲しみ、あるいは喜び、さらには、弱さすらも乗せられた言葉を響かせる。共感できることもあれば、できないこと、理解できないこともあった。それでも、違いを理由に否定するのではなく、語りを妨げるのではなく、誰もが言葉を紡ぐことのできる状況を作り出していった。その姿を目撃し、彼女たちの語りを聴いたエルサレムの人々が、まるで「自分たちの言葉」で神の業が語られているかのようだ、との感想を抱いたのは、彼女たちの語りの中に、偽りのない正直な思いが込められていたからだろう。

ペンテコステの主日。今一度、聖霊の導きを求めたい。イエスを信じる者として、自分の、他者の、そして神の思いに、心を向けられるように。たとえ自分とは異なっているとしても、隣人の思いが乗せられた言葉と声に耳を傾けることができるように。異なりを持つ人たちと、そばにいあって、寄り添って、共に生きる喜びを感じることができるようになる。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (5月28日 ペンテコステ礼拝)

礼拝出席 大人9名 子ども3名
献金 大人6,000円 中継動画再生数11回 感謝
さんと さんが初めて来会されました。

礼拝後に、釜ヶ崎支援のため「おにぎり作り」を行い、8升で205個のおにぎりを作って、いこい食堂にお届けし、四角公園にてお配りすることが出来ました。炊き出しの列にならばれる方の人数が多く、全員にお渡しすることができず、残念でした。お米等の献品を下さった皆様、どうもありがとうございました。次回は6月25日の予定です。どうぞご予定ください。

◎次週 2023年6月11日(日) 花の日・こどもの日 教会創立記念礼拝

招きの詞 詩編 133編 1-3節
聖書 使徒言行録 2章 37-47節
メッセージ「捕まって、自由となる」水谷憲牧師
賛美歌 「埋もれた宝」、21-8 (©教団)、21-342 (©教団)、21-448 (©JASRAC)

◎お知らせ

- ・礼拝後に、6月期の「教会を考える会」(役員会)を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症は、「季節性インフルエンザ」などと同じ感染症の分類になりました。しかし、ウイルス自体が無くなったわけではありませんので、それぞれの方の体調等に合わせて、引き続き感染症予防には留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・次週6月10日(土)13時~15時半にかけて、東梅田教会にて大阪教区教育委員会主催のCS教育セミナー「CS Cafe 2023 この夏、CSどうする?」が開催されます。講師は神崎清一さん(公益財団法人奈良YMCA理事)で、参加費は無料です。CS(教会学校/こどもの礼拝)に関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。ご参加希望の方は、人数、お名前、教会名を事前に申し込みください。

uccjosakakyoiku@gmail.com



◎ 次週以降の行事予定

| | メッセージ | 行事 |
|------|-------|----------------------|
| 6/11 | 水谷牧師 | 花の日こどもの日・教会創立記念礼拝 |
| 6/18 | 牛田牧師 | 聖書を読む会?(14時~八尾教会就任式) |
| 6/25 | 岡嶋伝道師 | 誕生者祝福式・おにぎり支援 |
| 7/2 | 牛田牧師 | ユーカーリスト・教会を考える会 |

大阪教区教育委員会主催 CS教育セミナー

CS Cafe 2023

この夏、CSどうする?

日時 6月10日(土) 13:00-15:30
場所 東梅田教会
講師 神崎 清一さん(公益財団法人奈良YMCA理事)

★コロナ禍で疲れたCS子ども、各教会CS担当者の心身のリフレッシュ!レクリエーション。
★CSアンケートからCSの課題、各教会のコロナ禍での取り組みの紹介。
★YMCAの子どもの働きから学ぶもの。 ★各教会のCS担当者の語り合い。

急な変更などのお知らせのために uccjosakakyoiku@gmail.com まで
参加人数、お名前、教会名の事前参加申し込みをお願いします。

当日、筆記用具をご持参ください。
CSに関心ある方はどなたでも参加できます。是非、ご参加ください。
マスク着用などの感染対策は必要に応じて各自で対応をお願いします。

問い合わせ 教育委員長 高橋健策 文野教会 TEL/FAX072-891-1523